

ユーラシアンホットライン

ユーラシアンクラブの組織、「アジア SUMO フェスタ」実施体制について協議

ー11月10日日本橋でウェブ会議、18日愛川町で中津川モンゴルフェスティバルー

ユーラシアンクラブは10月27日、28日の2日間にわたり、千葉県君津市のカムイミントラで合宿し、ユーラシアンクラブの組織や活動の現状について話し合いました。会議では副理事長のバーボルドさんから組織案について提案があり、今後の活動の重点の一つとしてウェブ会議の充実とホームページの改変について説明がありました。また組織表について参加者から補足意見がありました。

会議では、組織図、20周年記念イベント、ウェブの活用ペルシャ文化フェスティバル、留学生日帰りツアー、クラブの会費や東日本被災地復興支援などが話し合われ、会議後、木更津市で自然農業、メガソーラシステムの導入など自然との矯正プロジェクトに取り組む「耕す木更津農場」を視察しました。

またカムイミントラでの会議は、これまで先住民族にウェートを置いた交流拠点としての活動の他、アジアの相撲的競技を通じた国際文化交流をどう展開するかを話し合うため開催された。今後、木更津での会議を積み重ねることになりました。

当面、ウェブ会議および18日に愛川町で計画されている「中津川モンゴルフェスティバル」に取り組むことが確認されました。



● <バイオマス産業社会ネットワーク (BIN) 第119回研究会のご案内>

日時：2012年11月21日(水) 15:00~17:00

テーマ：木材チップ品質規格の策定とチップ供給の現状について

講演者：後藤 武夫氏(全国木材チップ工業連合会専務理事)

会場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学1F)

地下鉄表参道駅より徒歩5分・JR他渋谷駅より徒歩10分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN会員 無料、一般 1,000円

※ボイラーへの熱利用や発電などの木質バイオマスのエネルギー利用の拡大にとって、木材チップの安定的な供給は、重要なポイントとなると考えられます。※日本の木材チップのエネルギー利用の際

に、品質規格がないことが課題となっていました。2012年5月、全国木材チップ工業連合会が品質規格を策定しました。※第118回研究会では、全国木材チップ工業連合会専務理事の後藤武夫氏に、木材チップ品質規格の策定および、チップ供給の現状についてうかがいます。※製紙用木材チップの状況を踏まえつつ、調達現場の現状や、安定した原料調達のためにどのような方策が必要かなどについて、参加者の皆様とともにディスカッションできれば幸いです。※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

● <バイオマス産業社会ネットワーク (BIN) 第120回研究会のご案内>

日時：2012年12月4日(火) 15:00~17:00

テーマ：木質バイオマス発電事業の事例紹介～バイオマス群馬の取り組みについて～

講演者：森 一晃氏(株式会社バイオマス群馬代表取締役)

会場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学1F)

地下鉄表参道駅より徒歩5分・JR他渋谷駅より徒歩10分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

※7月より始まった FIT (再生可能エネルギー電力買取制度) により、木質バイオマス発電への関心が高まっています。ただ、これまで木質バイオマス発電は、建設廃材を主とするものを除くと、多数の課題に直面している事例がありました。

※2011 年 9 月に営業運転を開始したバイオマス群馬では、13,600 kW の木質チップ専焼発電事業を行っています。

※発電事業開始にあたり、地域のリサイクル木のほか、剪定枝など

生木系資源についても綿密な調査と調整を行い、供給側需要側にとってメリットのあるしくみづくりをしながら、事業を行っています。
※バイオマス発電では、多量のバイオマスを安定的に調達することが、事業継続において必須となります。また、さまざまなリスクに対応しながら、トータルでの収益をはかっていく必要があります。当日は、経済・社会・環境面で持続可能なバイオマス発電事業の運営について、参加者の皆さまとともに、議論できれば幸いです。

【インド通信】第 7 号

オーナム祭

佐藤友美

[1986 年生。幼少期をオーストラリアとシンガポールで、10 代は埼玉県で過ごす。オーストラリア国立大学でサンスクリット語と日本語言語学を学ぶが、優等学位のために書いた論文は津田梅子に関するものだった。その後東京外国語大学の博士課程前期に入学するも、現在休学してインド・ケーララ州で日本語教師として企業勤務。現在の主な関心はケララ芸能。]

もう二ヶ月も前のことになってしまいましたが、8月の末にオーナム祭がありました。古の偉大な王、マハーバリ（民間では、マーヴェリ、とも呼ばれる）の帰還をお祝いするお祭りです。神々の嫉妬によって玉座を追われた王は、年に一度だけ、民に会いに来る許しを得ました。

この時、マハーバリの許へ来たのはヴィシュヌ神の化身である小人、ヴァーマナ。ヴァーマナは三步分の土地がほしいと奏上し、マハーバリも快諾します。しかしその瞬間、ヴァーマナはみるみる巨大化し、最初の一步ではこの地上と根の国とを覆いました。二歩目では点の国を覆いました。マハーバリは自らの言葉を違(たが)えないために、三步目には自らの頭(こうべ)を垂れ、ヴァーマナの足下に差し出すのです。

オーソドックスなヒンドゥー教では、マハーバリこそが、神々を追いやり成敗された悪魔の王ということになるのですが、ケーララでは偉大な王であると尊ばれています。マハーバリの時代はケーララの黄金期であり、全ての民が一つとなり、カーストによる差別も無かった、と言われます。マハーバリ崇拜の歴史は古く、発祥を辿ることは難しいようです。

オーナムは元々はとても私的な行事であり、家族の中で祝うものだったそうです。恐らくはヒンドゥーのみの祭りだったのではないかと思います。今ではクリスマスのように商業化され、ケーララ



中で盛大に祝われます。各種セールスが喧伝され、この時期に大きな買い物を済ませるのが一般的とのこと。

今年はイスラム

教のラムザン（ラマダン・断食明け）も重なったため、両方に言及した宣伝が各所で見られました。

オーナムの十日間の間、伝統的にはその朝摘んだ花で、家の前を丸い絨毯のように彩ります。プーカラとして知られ、この「プー

は花を意味するのですが、昨今の町では、各所に設営された場所で、色づけした木片で済ませることも多いようです。また、ティルヴァーティラカリという、盆踊りのような踊りが女性たちによって踊られます。両者ともに、現在はコンペティションなどでその出来が競われることが一般的です。

ところで、オーナムはケーララの暦で新年にあたる、チンガム（獅子を意味するシンの転訛）月に行われ、豊穰祭の性格も持っているのですが、その前の月にあたるカルキダガム月には、正にお盆のような、祖先の霊を迎える日、というものもあります。

更にはその月の最後の日つまり大晦日には、大掃除をしたり、「鬼は去れ、吉祥よ、来い！」と節分のように叫んだりするなど、日本を彷彿とさせる慣習が随所に見受けられ、興味深いです。



● 板坂 優一：1983 年生まれ。北海道出身。2009 年の冬からバックパックとギターを背負って中国からシリアまでアジア横断の旅へ。そこで見た『イスラムの世界』に魅せられ、現在マレーシアのペナンにてアジアの文化、特にイスラム圏について宗教、社会などの勉強をしている。

9 月に入り、ペナンは日本で言う『梅雨』を思い出させる様な気候になる。日本の様にしとしと、しみじみする雨もあればバケツをひっくり返した様な雷雨が突然やって来るのもこの時期よくあることだ。そしてこの時期、9 月から 11 月位にかけて気温が急に下がり、過ごし易くなる時期でもある、と言うより寒くなる。数ヶ月前までクーラーをガンガンかけないと眠れなかった夜も、今ではファンも必要無い位だ。長く南国に居るせいとか、少し気温が下がると寒く感じるのは気のせいだろうか？何がともあれ、この時期特に注意したいのが風邪である。急な気温変化によって体調を崩す人は少なくはない。これは日本人始め、ペナンに住む外国人だけでなく、地元人も気をつけている事だ。しかしこの事はこの時期だけに言える事ではない。マレーシアではほとんどの建物の中はクーラーがガンガン利いている為、内と外の気温差がハンパない。どの位寒いかというと、建物の中は、場所にも寄るが、冬用のフリースを着る人も居るくらい寒い。(もちろんクーラーが利いてない所もある。)年中暑いからと言って風邪を引かない事はない。むしろこのような環境だからこそ体調を崩しやすい。なので体調管理は不可欠なのだ。

体調を崩した時、殆どの地元人が言うのは、「水を沢山飲みなさい」だ。面白い事に病気の時だけに限らず、病気の予防の為にも水を飲めと言う。なのでいつも水を飲まなければならない。私は大量の水を飲んだり、携える事は馴染み無い為、未だ習慣付いていない。ペナンに来た当初、よく身体を壊した。その度に「水を沢山飲んでないから」と理由づけられ、参ってしまった事がある。果たしてどのくらい水を飲めばいいのだろうか？定かではないが、目安となるのは、1 日 2 リットル以上だ。地元の人達は学校、職場などに出かける時 2 リットル位の大きなプラスチック製の水筒を携える。ところでどうして「水を沢山飲め」とみんな言うのか友人に尋ねると、理由として、マレーシアは暑いので身体の中の水分が奪われてしまう事、それによって身体が熱くなり、病気に掛かったり、病気が治るのが遅くなるからと言う。暑い国でのコンスタントな水分摂取は私が思っている以上に体調管理の上で大切なかもしれないし、健康



にも良いかもしれない。かと言ってそれが体調を維持出来る大きな要因にも成り得ないのでは？と思うのが正直な意見だ。

また、ペナンは中華系の人が沢山居るせいとか、漢方に則した健康法が沢山ある。それが多くの人に浸透していて、また健康にも気を使っている様な感じがする。正に「水を飲め」の様なものだ。特に中華系のおばちゃん達の間では常に『健康ブーム』であり、漢方に則した健康法で自らの健康を維持しようとしている。存知の通りの『漢方』はマレーシアの中華系の人達の間でも根強く、街の中には診療所のような漢方の病院もよく見かける。それ故漢方に則した民間治療法も沢山あるようだ。例えば熱がある時は身体を暖める作用があるものは食べてはならない。むしろ冷やすのが良いとされる。食欲が無い時に食べたい『おかゆ』は身体を暖める作用があるので熱がある時は食べてはいけないとの事。他にも面白いのは、頭を強打した時は殻をむいたゆで卵で打った所をずっとコロコロとなでる等、その他にもこのような疑いとなるものが沢山ある。肝心な効果は定かではないが、

少なくともペナンにはこのような民間療法があり、人々の間で行われているようである。

【モンゴル通信】2 号 盛人大学でモンゴル文化を紹介

2012 年 10 月 26 日、埼玉県川口市にある、盛人大学国際コースでモンゴル文化の紹介をさせていただいた。モンゴルの他、中国、韓国、フィリピンなどアジアの方々に参加し、それぞれの文化を紹介した。盛人大学とは、「主に 50 歳以上の方々の交流と地域参加の機会を提供することを目的」として設立された、市民大学である。今回の活動は、NGO 多文化共生協働センター・川口(理事長峰久節子)が主催したものだ。峰久理事長とは、2005 に川口市で第 13 回ブ



バーボルド

フ大会を開催するときにはじめて知り合ったが、ブフクラブと地域との架け橋になっていただいた、友人でもある。ほんとうに活動的で国際交流に深い理解と信念を持つ方である。

わたしたち 5 人は、ナラントンガラガとチンゲルの 2 名によるブフの実

演、学芸大学の留学生であるイリチさんのモンゴル舞踊、田中英和さんによる馬頭琴演奏でモンゴル文化の一端を紹介し、盛大な拍手をいただいた。不肖ボルドーは、民族衣装デールを着て、司会をしながら衣装についても紹介した。この度はモンゴル文化を紹介するいい機会に恵まれたのと同時に峰久さんにはすこしだけ恩返しできた気がしました。ある意味で「恩返し」という表現は正しくないのかもしれないが、文化交流を通じた「ご縁」の大切さを改めて感じた次第である。

現在、川口市には 80 カ国の約 2 万 2000 人の外国籍住民が住んでおり、埼玉県最多であるという。今回の主催者である NGO 多文化共生協働センター・川口は、行政との協働による「共生のまちづくり推進」をめざして 5 月 21 日に設立され、地域の国際化の進展に伴い、文化的背景の異なる在住者との共生を目的としている。このような活動はわがユーラシアン倶楽部の趣旨とも共有できるものであり、今後団体間の連携や親睦を図るべき活動も必要ではないかと思われる。

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

[北アジア(含むロシア)]

● 政権批判の女性バンド、有罪判決は当然の報い=フーチン大統領

2012 年 10 月 26 日 13:52 JST

[ノボ・オガリョボ (ロシア) 25 日 ロイター] ロシアのプーチン大統領は 25 日、モスクワの大聖堂で反プーチン政権の演奏を行い、有罪判決を受けた女性パンクバンド「プッシー・ライオット」のメンバーについて、同国の道徳的基盤を脅かしたため、禁錮刑は当然の報いだと言った。

プーチン大統領はこの日、モスクワ郊外ノボ・オガリョボの大統領公邸で開かれた学者や外国人ジャーナリストらで構成されるバルダイ・クラブの会合に出席。会合の席で大統領は、バンドメンバーの抗議活動が「宗教心を汚す集団セックスのようなもの」と非難した。

同バンドのメンバー 3 人は今年 8 月、フーリガン行為の罪で禁錮 2 年の判決を言い渡された。今月の控訴審では、メンバー 1 人が猶予刑に変更されたが、残りの 2 人の量刑は変わらなかった。

またプーチン大統領は、「われわれには道徳基盤の崩壊が始まる越えてはならない一線がある。それを越えた者は、法に従い責任を負うべきだ」と主張。判決に対する欧米諸国からの批判の声に反論した。

<http://jp.reuters.com/article/jpRussia/idJPTYE89P02R20121026>

● 日本外務省とロシア安全保障会議 協力のメモランダムに調印 23.10.2012. 19:03

玄葉光一郎外相とニコライ・パトルシェフ安全保障会議書記

記は東京で、日本外務省とロシア安全保障会議書記局との間の協力に関する共同メモランダムに署名した。

この調印に先立ち交渉が行われ、その中で双方は、アジア太平洋地域における安定と安全の保障にとって日ロ二国間協力が持つ重要性を確認した。交渉の席上、パトルシェフ書記は、安全保障会議と日本外務省の間に対話が今後確立してゆくよう望むと期待感を表明した。

日本では明らかに、今回のパトルシェフ書記の訪問は、12 月にモスクワで実施される見込みのプーチン大統領と野田首相の会談を前に好ましい雰囲気づくりをするため重要なものだと見なされている。

明日水曜日に、パトルシェフ書記は、野田首相と会談の予定だ。 リア・ノーヴォスチ

http://japanese.ruvr.ru/2012_10_23/92180404/

[西アジア]

● アラファト氏遺体、掘り返しか 毒殺説で

【エルサレム共同】2004年に死去したパレスチナ自治政府のアラファト議長=当時(75)=の毒殺説に絡み、妻スーハさんの告訴を受けたフランス司法当局が11月下旬に自治区のヨルダン川西岸ラマラを訪れ、アラファト氏の遺体を掘り返す見通しであることが30日分かった。AFP通信が伝えた。

パレスチナ解放闘争を象徴するカリスマだったアラファト氏の詳しい死因は不明。「イスラエルが毒殺した」との説が信じられてきたが、イスラエルは否定。

中東の衛星テレビが7月、スイスの研究所の検査でアラファト氏の遺品から放射性物質ポロニウム210が検出されたと伝え、毒殺説が再燃していた。

<http://www.47news.jp/CN/201210/CN2012103001002439.html>

● アルカイダの指導者 エジプト人らに外国人誘拐を呼びかけ 27.10.2012. 16:13

テロネットワーク「アルカイダ」のアイマン・アル＝ザワ

ヒリ氏は、エジプト人らに対して、イスラムの名においての闘争を継続し、そのために欧米諸国の人々を誘拐するよう呼びかけた。AFP通信が伝えた。

およそ1時間におよぶアル＝ザワヒリ氏のビデオ演説は、エジプトとイスラエルとの関係改善に向けた動きを背景にインターネットに掲載され、またイスラエルとパレスチナのハマスの間で非公式の停戦合意がもたれたことも背景としている。エルサレム・ポスト紙が伝えた。イスラエルとパレスチナの和平交渉には今までどおり、エジプトが仲介の労をとっている。

アルカイダはエジプトで新しく選ばれたモハメド・ムルシ大統領に対して、「パレスチナ解放に向けた聖戦とエジプトが米国の対テロ戦争に参加していること」に関する自らの立場を明確にするよう求めている。ムルシ大統領は6月の選挙において、イスラム運動体「ムスリム同胞団」の支持を受けていたが、本人自身2000年以降、その運動体の指導者の一人だった。大統領

に当選して以降、「すべてのエジプト人の大統領」になるために運動体からは外れている。

アル＝ザワヒリ氏は、エジプト人たちに対して、イスラエルとの関係正常化に反対し、汚職にまみれ、米国の言いなりになっている政府を倒すための革命を継続するよう呼びかけている。また米国大統領については、うそつきであると言い放ち、米国とその同盟諸国がイラク、アフガニスタン、北アフリカ諸国で敗退したことを認めるよう求めている。

2011 年 6 月のオサマ・ビン・ラディン氏の殺害以降、アルカイダを率いているザワヒリ氏は、今回のビデオ演説の前には、10 月中旬に映画「ムスリムの純真」についての演説をインターネットに掲載しており、そのなかで、米国大使館を襲撃するよう呼びかけていた。

【中央アジア】

● キルギス 金採掘場での民族間対立 中国人労働者追放を求める声

23.10.2012, 17:43

キルギスのオルロフカ村近くにある金採掘場では、中国人労働者も参加した騒動がおこり、それをうけて、地元の人々は中国人を本国に追放するように求める抗議行動を行っている。

21 日、中国の鉱山企業の車両が地元の人が所有する馬を轆いてしまった。他の情報では、この馬に人が乗っていたということもいわれているが、人間に怪我はなかったという。

http://japanese.ruvr.ru/2012_10_27/92610137/

● シリアで市民含む 123 人死亡 政府軍、空爆強化か

【カイロ共同】シリア人権監視団（英国）によると、内戦が続くシリアで 30 日、政府軍が首都ダマスカス周辺などで空爆を継続、各地の戦闘により市民 57 人を含む少なくとも 123 人が死亡した。フランス公共ラジオが伝えた。

シリアでは、国連とアラブ連盟合同のブラヒミ特別代表がイスラム教の祝祭に合わせた一時停戦を提案したが、実現しないまま祝祭期間は 29 日に終了した。アサド政権側は全土での空爆を強化させているもようで、さらなる暴力の激化が懸念されている。2012/10/31 08:14 【共同通信】

<http://www.47news.jp/CN/201210/CN2012103101001033.html>

怒ったキルギス人らは現場に駆けつけ、口論が喧嘩に発展し、数人のキルギス人が負傷した。

22 日、オルロフカ村の人々は中国企業に反対する集会を開き、事務所を破壊するなどの脅し文句を掲げている。内務省の情報では約 450 人がこの行動に参加したという。

現在の村の状況は平穏だと伝えられているが、鉱山での作業はストップしている。現地の中国人労働者はおよそ 300 名で、隣の地区に移されている。

http://japanese.ruvr.ru/2012_10_23/92168258/

【南アジア】

● インド閣僚や元軍幹部が日印協力の重要性強調 中国台頭見据え 2012.10.31 21:00

【ニューデリー＝岩田智雄】海洋安全保障をめぐる日本とインドの協力を話し合うシンポジウムが 31 日、ニューデリーのシンクタンク、国防研究所で 2 日間の日程で始まった。インドの元軍高官や閣僚、日本の専門家から、中国の海洋進出による脅威に対抗するため、日印関係を強化すべきだとの意見が相次いだ。

インド国家安全保障顧問会議のメンバーで元海軍長官のアルン・プラケシュ氏は「中国は謙虚さをなくし、強引に海軍力を誇示している。攻撃力を太平洋で追求しているとみられ、将来はインド洋でも同様のことをするだろう」と指摘した。

また、日本が第 2 次大戦中、インドの独立運動家チャンドラ・ボースを支援し、戦後の極東国際軍事裁判（東京裁判）でパール判事が日本人の被告人全員の無罪を主張した日印の歴史に触れ、日本が自国の安全保障を考える上で「日印の利益を合致させることが重要だ」と訴えた。

インド海軍東部方面艦隊元司令官のプレムビル・ダス氏は「日印は、中国と海と陸で領土問題を抱えている。ともに中国に関与する必要がある」とし、「アジアに目を向ければ、日印ほど自然な同盟国はない。両国間には何の係争もない」と関係を深

化させる必要性を強調した。

インドのアシュウィニ・クマール法相は、中国の脅威について直接の言及は避けたものの、「海上安全保障の本当の重要な意味はアジアへの、そしてアジア内でのパワーの変化だ」と分析し、「日本は自然なパートナーだ」と指摘した。

また、両国間で続いている首脳相互訪問の意義を示したうえで、「インドのルック・イースト政策の中心は日本だ」とし、11 月に予定されるインドのシン首相の訪日を「重要な出来事となるだろう」と語った。

一方で、日本側から参加した東京財団理事長で元防衛事務次官の秋山昌広氏からは、「日印の戦略的パートナーシップや防衛協力を高める必要があるのに、単なる言葉しか聞こえず、行動が伴っていない」と両国のいっそうの努力を促す意見も出された。

日本とインドは今年 6 月に相模湾で初の共同訓練を行った。また、両国に米国を加えた 3 カ国の外交当局の局長級協議も最近、ニューデリーで開かれたばかりで、日米印は中国を念頭に海洋の安全保障問題について意見交換するなど連携を強めている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121031/asi12103121010000-n1.htm>

● インド外務省、「日本海」を確認

2012. 10. 30 22:35 [中東・アフリカ]

【ニューデリー＝岩田智雄】インドのアクバルディン外務報道官は 30 日の記者会見で、インド政府傘下の製図機関が作成した英語版地図から「日本海」の呼称が省かれていたことについて、「日本大使館から抗議を受けたのは事実だ」と述べるとともに、「インド政府の立場は一貫している。日本と韓国との海は日本海だと考えている」と言明した。

29 日付のインド紙は、この製図機関が「日本海」の表記を書き落としていると報道。ただし、地図には韓国が主張する「東海」の表記もなかった。在インド日本大使館幹部は産経新聞に、「抗議というのは大げさで、通常の話の中で伝えただけだ」と述べ、友好国インドとのやりとりに神経質になっている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121030/asi12103022350004-n1.htm>

● インドで内閣改造 外相にクルシード氏

2012. 10. 28 22:18

インドのシン首相は 28 日、内閣改造を行った。新たな顔ぶれや若手を登用することで、相次ぐ汚職疑惑などで傷ついた政権のイメージを刷新する狙いがあるとみられる。クリシュナ外相（80）の後任には、クルシード前法相（59）が横滑りした。

インドは 2014 年に総選挙が予定され、シン首相は地元メディアに、選挙までの内閣改造はこれで最後になるとの見通しを示した。ガンジー家の御曹司、ラフル・ガンジー氏の入閣は本人が固辞し、見送られたという。（ニューデリー 岩田智雄）

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121028/asi12102822190001-n1.htm>

● 「ガンジー王朝」の御曹司、入閣固辞 インド内閣改造 党勢固め優先 2012. 10. 29 23:59

【ニューデリー＝岩田智雄】インドで数々の政治指導者を生んできた「ネール・ガンジー家」の御曹司で最大与党、国民会議派幹事長のラフル・ガンジー氏（42）が、28 日にシン首相（80）が行った内閣改造で新閣僚に加わることを固辞した。国民会議派の次期首相候補と目されるラフル氏は、2014 年の総選挙を閣僚経験のないまま迎える可能性が高まっている。

ラフル氏の曾祖父は、インド独立後、初代首相を務めたジャワハルラール・ネール氏。祖母インディラ・ガンジー氏と父ラジブ・ガンジー氏も首相を歴任し、いずれも暗殺されている。母ソニア・ガンジー氏（65）は国民会議派の総裁と、ラフル氏の政治家としての毛並みは抜群だ。

今回の内閣改造では、クリシュナ外相（80）の後任にクルシード法相（59）を横滑りさせるなど、「若手とベテランの組み合わせ」（シン首相）を重視した布陣となった。新顔の登用で、相次ぐ汚職疑惑で傷ついた内閣のイメージの刷新を図ったとみられる。ラフル氏の入閣について、シン首相は「何度も要請しているが、ラフル氏の意向は、党勢強化にある」と述べ、ラフル氏が受諾しなかったことを明らかにした。

理由の一つは、今年初めに行われた地方選挙での国民会議派

の惨敗だ。総選挙の前哨戦とされた北部ウッタルプラデシュ州の州議会選挙で、ラフル氏は陣頭指揮を執ったが敗北、「ラフル氏は当時のショックから、立ち直れていない」（観測筋）とされる。入閣により、ラフル氏が政府の“汚職にまみれた印象”に引きずられるのを嫌ったとの見方もある。

いずれにしても、母親のソニア・ガンジー総裁はラフル氏以外の人物を自身の後継者に据える考えはないとされる。インド・メディアは、ラフル氏が近く、党内でより重要なポストに格上げされるとの見方を伝えている。

内閣改造では、閣外相にラフル氏に近い若手も抜擢（ぼってき）され、「ラフル氏が、内閣についてシン首相と議論することに無関心だった状態から脱却したのは初めて」（タイムズ・オブ・インディア紙）という。ラフル氏は党勢の立て直しを優先するとともに、党内での自身の影響力を強めることにも腐心しているようだ。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121030/asi12103000000000-n1.htm>

● 米印、初の潜水艦救助共同訓練 インド洋での中国軍活発化に対抗

2012.10.26 18:17 [中国]

【ニューデリー＝岩田智雄】インド、米両国は今日 30 日から、インド西部ムンバイ沖で、初の潜水艦乗員救助の共同訓練を行う。インドは近年、インド洋での行動を活発化させている中国海軍に対抗して、潜水艦の配備を増強しているが、本格的な救助装備を持っておらず、事故に備えて米軍との協力体制の構築を急いでいる。

米海軍の発表と 26 日付インド紙タイムズ・オブ・インディアによると、米軍の深海救難艇の搬入など訓練に向けた準備は 19 日から始まった。深海での救助訓練は 30 日から 11 月 6 日まで行われ、全ての作業を同 13 日に終了する予定だ。

米国は 1997 年にいったん潜水艦乗員救助でインド側に協力することを決めていたが、98 年にインドが行った核実験を機に計画は頓挫。2004 年に改めて合意が結ばれ、準備が進められていた。米海軍深海救助司令部のデーブ・レムリー司令官はホームページで「米印の強力で持続可能な協力関係を構築するうえで大変重要だ」と共同訓練の意義を強調した。

インドは既存の潜水艦の老朽化が進む中、最近、ロシアから原子力潜水艦 1 隻をリースで導入し、初の国産原子力潜水艦「アリハント」の年内就役を目指している。潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）の開発も急いでおり、軍事力で水を開けられている中国に対抗しようとしている。

一方でインドのシンクタンク国防研究所のサラブジット・シン・パルマ研究員（元海軍司令官）は「訓練は攻撃作戦でも軍事力を誇示するものではない。中国は警戒しなくてよい」と述べ、中国側の懸念払拭に努めている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121026/asi12102618190001-n1.htm>

● インド、投資先として世界トップ 7 入り

ベルギーの大手監査法人 BDO インターナショナルはこの

ほど、各国の企業が魅力ある投資先として考える国に関するランキング「Global Market Opportunity Index (グローバル・マーケット・オポチュニティー・インデックス) 2012」を発表した。

調査対象者はインド、米国、英国など世界 14 カ国の企業の最高財務責任者 (CFO) 約 1,000 人で、投資したい国について聞いたもの。

インドは前年と同じで 4 位に入り、「世界有数の投資候補地」としての評価を守った。報告書は「世界 2 位の人口を抱えることなどが高い評価に結び付いた」としている。人口以外にも「消費者の購買力の上昇や安い労働力などが海外企業にとり魅力として映っている」と分析している。

報告書はインドについて、業種別では、サービス業、技術、メディア、通信などを有望な投資先として挙げた。

1 位は前年と変わらず中国。2 位は米国 (前年も 2 位、以下同)、3 位にはブラジル (6 位) が入った。以下、5 位ドイツ (3 位)、6 位ロシア (8 位)、7 位英国 (5 位)、8 位オーストラリア (11 位)、9 位アラブ首長国連邦 (UAE、9 位)、10 位メキシコ (13 位) の順となっている。

今回の調査では各企業の CFO が「投資したい国」として挙げた国に関する全回答のうち、66%が上位 7 カ国に集中した。

BRICS (インド、中国、ロシア、ブラジル) 諸国はいずれも投資したい国の上位 10 カ国に入る一方、ブラジルを除く 3 カ国が「リスクが多いと思う国」ランキングでも上位 20 カ国に入った。結果はロシアが 9 位、中国が 13 位、インドは 20 位となっている。10/29/2012

<http://indonews.jp/2012/10/5-92.html>

● 銃撃されたパキスタンの 15 歳少女「指導者になりたい」

2012.10.25 14:36

2009 年にパキスタン北西部スワト地区からタリバン支配下で世界に現地の状況を発信し続けたマララ・ユサフザイさん
女性の教育を受ける権利を公然と主張し、イスラム武装勢力

[東南アジア]

● シアヌーク様のカンボジアとインドシナ-忍び寄る不吉な影 友田 鏡 (元日本国際問題研究所所長)

2012.10.31 21:10

第 3 次インドシナ戦争と呼ばれたカンボジア紛争が終わって 21 年。平和回復の立役者シアヌーク前国王を失ったカンボジア、それにインドシナ半島全体に、再び不吉な影が忍び寄っている。

「影」の正体。それは、いまこのインドシナで、また広くは東南アジア全域で、米国と中国が熾烈 (しれつ) な影響力争いを繰り広げていることだ。その成り行きによっては、インドシナは再び不安定化する可能性がある。

オバマ政権は、2009 年に登場して以来、「米国の未来はアジアにあり」と見て、東南アジアとの関係強化に乗り出した。その米国の前に立ち上がったのが中国である。

中国は 1990 年代後半から、インドシナ半島で影響力を広げてきた。歴史的に反中感情の強いベトナムは別として、他の

「パキスタンのタリバン運動 (TTP)」に銃撃されたパキスタンの女学生、マララ・ユサフザイさん (15)。事件の後、欧米メディアも大きく取り上げた彼女は今年 2 月、イスラマバードで直接取材したとき、「将来は国家を正しい道に導き、国民に正直で、国民の痛みがわかる指導者になりたい」と語っていた。

マララさんの名前が広く知られたきっかけは、英 BBC のワールドウー語放送で 2009 年 1 月から 4 月にわたり伝えられた「パキスタン女学生の日記」というブログだった。

ユサフザイさんが住んでいたパキスタン北西部スワト地区は当時、TTP が勢力を振るい、治安情勢は国内で最も深刻だった。BBC は現地の様子を世界に伝えたいとして、私立学校の校長を務めるマララさんの父に女性教員の協力を要請。しかし、みな尻込みしたため、マララさんが担当することになった。

仮名での連載だったが、だれが「執筆者」かはやがて知られるところとなり、TTP は FM ラジオなどを通じて頻繁に脅迫。「娘をこんな目にあわせる父親が悪い」との批判も出たが、マララさんは当時の取材で、「当たり前のことをいって何が悪いの?」と話し、逃げも隠れもしなかった。

スワト地区の TTP は 09 年春、国軍の掃討作戦でアフガニスタン側に逃走した。マララさんはこうした情勢を振り返り、「タリバンがあのまま居座り続ければ、外国部隊がスワト地区に駐留して、アフガンようになりかねなかった。そうならないようにできることはすべてやろうと思った」と話していた。

ブログは、マララさんが携帯電話で学校での出来事や暮らしぶりを報告した内容が掲載された。同級生らの勉学への強い意欲や家族が抱える不安などが率直につづられた。

マララさんは現在、英国で治療中。TTP は、スワト地区に戻れば再び命を狙うと宣言している。

(田北真樹子)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121025/asi12102514390001-n1.htm>

4 カ国—ミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア—で、中国は巨額の投資と気前の良い援助を武器に、その存在を膨らませていった。

インドシナ半島での米国の巻き返しは、まずミャンマーからはじまった。オバマ政権は 2009 年の発足直後から、それまで制裁の対象だったミャンマーの軍事政権 (当時) と、公式、非公式の接触をスタートさせた。

その結果 11 年 11 月、ついにクリントン国務長官自身の訪問が実現した。米国の国務長官がミャンマーの土を踏んだのは約 57 年ぶりのことだ。米国の巻き返し作戦は、少なくともミャンマーでは成功しつつある。

2000 年代に入ってから中国が圧倒的な存在を築いたラオスでも、米国による中国からの引き離しの努力が始まっている。この 7 月に、米国の国務長官としてやはり約 57 年ぶりに、クリントン氏がこの国を訪問した。この 10 月には、ラオス念願の WTO (世界貿易機関) 加盟が、米国の後押しで承認された。

問題はカンボジアだ。

中国は1997年フン・セン氏がクーデター事件で国際的に孤立したときひとり擁護にまわり、以来、この国で圧倒的な存在感を発揮している。去る7月のASEAN外相会議では、ベトナム、フィリピンなどが中国と激しく争う南シナ海の領有権問題で、カンボジアは議長国として中国に有利な会議運営をしたのけた。

インドシナの状況でもうひとつ目をひくのは、米国とベトナムの関係が急速に緊密化していることだ。南シナ海領有権問題で米国は一貫してベトナムに好意的だし、合同軍事演習さえも行われるようになった。

米国にとってベトナムは、インドシナ半島、ひいては東南アジアでの中国の影響力に対する防波堤というべき存在だ。ベトナムにとっては、米国は中国の圧迫に抵抗するさいの頼もしい後ろ盾である。いま一部で米国の対越武器供与と米戦闘艦のカムラン湾使用という取引の可能性もささやかれている。万一これが現実のものになれば、中国は事態が「一線を越えた」とみ

なし、緊張は一気に高まるだろう。

さて、インドシナ半島をめぐる米中が影響力を競う光景は、現代史の変遷のめまぐるしさを痛感させる。

第二次世界大戦後、米国と中国は「敵同士」だった。ところが中ソ対立が激化すると、ニクソン訪中を皮切りに「昨日の敵」は一転、「今日の友」になる。しかし90年代はじめのソ連邦の解体で「北方の脅威」が消滅すると、北京の指導者たちは一気に影響力の「南進」に突き進んだ。そして、東南アジアを重視しはじめた米国と、再びこらみ合うことになったのだ。

1991年にカンボジア紛争が終わったとき、世界は、「こんどこそインドシナ半島にほんとうの平和が戻った」と思った。だがいま、この半島は米国と中国の影響力競争の新たな舞台となりつつある。21年前に成ったカンボジアの平和は、インドシナ半島の長い抗争の歴史の「幕あい」にすぎなかったのだろうか。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121031/asi1210312110001-n1.htm>

【東アジア】

● 米日軍事演習 11月に実施

30.10.2012. 20:09

日本と米国は11月、日本領内で合同軍事演習を行う。30日、防衛省が明らかにした。

演習は11月5日から16日に実施され、3万7千人以上の日本兵および1万人以上の米兵が参加する。一方、日米の思惑は中国側からの懸念を呼び起こしている。

先週、中国国防部のヤン・ユイツィン報道官は、中国政府が日本の行動を注視していると述べていた。

中国と日本の関係は9月、日本政府がジャオユイダオ（尖閣諸島）5島のうち、3島を国有地化したことで悪化している。

http://japanese.ruvr.ru/2012_10_30/beinichi-gunji-enshuru/

● 中国船4隻、2時間領海に 尖閣沖、海保が警戒

沖縄県・尖閣諸島沖の領海に30日、中国の海洋監視船4隻が侵入した。2時間余り、領海内を航行し、午後1時20分ごろまでにすべて領海外に出た。中国監視船の領海侵入は28日以来2日ぶり。9月11日の尖閣国有化以降では8回目。

第11管区海上保安本部（那覇）によると、海洋監視船「海監15」「海監26」「海監27」「海監50」の4隻。30日午前11時ごろ、魚釣島沖から領海に入り2隻ずつに分かれて航行。午後1時10分ごろから約10分の間に相次いで出た。監視船が監視、警戒を続けている。

「海監50」は領海を航行中、電光掲示板に「貴船は中国の領海に侵入したので、直ちに退去してください」と日本語と中国語で表示した。

ほかに漁業監視船「漁政201」も久場島や魚釣島沖の領海外側の接続水域を航行。29日午後10時すぎに接続水域に入り航行していた「漁政32501」は30日午前9時すぎに同水域から出た。

(2012年10月30日)

<http://www.kyodonews.jp/feature/senkaku/2012/10/post-448.html>

● アップルが地図に「竹島」併記 韓国政府「是正求める」

【ソウル共同】聯合ニュースによると、韓国政府当局者は31日、米アップルが自社の地図ソフトの竹島（韓国名・独島）の表記について、「独島」の単独表記から、「竹島」と洋名の「リアンクール岩礁」を加えた三つの併記に変更する方針を伝えてきたことを明らかにした。

韓国政府はアップルに抗議したが、アップル側は「ビジネスの利益を考えざるを得ない。日本市場の方が韓国より数倍大きい」と説明したという。政府当局者は「今回の決定は受け入れられず、引き続き是正を求めていく」としている。

同当局者によると、表記が変更されるのは日本語と韓国語以外の言語の地図ソフト。2012/11/01 00:20 【共同通信】

は、この暴動での負傷者は数百人、死者は10～30人に上り、<http://www.47news.jp/CN/201210/CN2012103101002189.html>

● 「竹島は日韓の「係争地」 取材協力で世界に発信 韓国で失政批判」2012.10.5 23:38

米CNNなど海外メディアが韓国政府の計らいで竹島（韓国名・独島）を現地取材し、「日韓が領有権争いをしている場所だ」と伝えたことについて、韓国国会で5日、野党から「重大な失策だ。大々的に係争地だと広報してしまった」と政府を非難する声が上がった。

金星煥外交通商相は反論できず、取材協力の経過を確認すると表明した。

今回の取材協力は、李明博大統領の8月の竹島上陸後、日本が領有権主張を強めたことに対抗したもので、現地取材した欧米と香港の6社には事前に韓国政府の立場を説明したという。

しかし各社は「紛争地」と報道。野党議員は「外国メディアがわれわれの立場だけを伝えることなどあり得ないではないか」

と嘆いた。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121005/chn12100523390012-n1.htm>

● 江沢民氏の執務室閉鎖 光大会前に中央軍事委 影響力に陰り 2012. 10. 31 21:03 (1/2 ページ) [中国]

【北京＝矢板明夫】8日に開催される中国共産党大会を前に、軍の最高機関、中央軍事委員会の建物にあった江沢民前国家主席（前軍事委員会主席）の執務室が閉鎖されたことが中国の軍関係者の話で分かった。最近行われた一連の軍指導部人事で、胡錦濤国家主席と習近平国家副主席の側近が主要ポストを占め、江派だった將軍たちが引退。執務室の閉鎖は江氏の影響力低下を象徴しており、中国軍は今後、胡派と習派の2大勢力が対抗する構図に様変わりする。

江氏は2004年秋に党中央軍事委員会主席を退任したが、軍関係者によれば、中国のペンタゴンと呼ばれた中央軍事委員会の建物「八一大樓」の中に主席時代とほぼ同じ大きさの執務室を残していた。複数の専属秘書も配属されており、江氏は時々訪れ、現役の軍幹部や元軍首脳と面会するなどして、軍への影響力を行使していた。

しかし、最近、軍内の江派の存在感が急速に低下し、胡主席を支持する一部の軍長老から「引退した指導者が軍中枢で執務室を持つのはおかしい」との批判が高まった。この夏、江氏は秘書を通じて、執務室の閉鎖を軍事委員会に申し出たという。

エンジニア出身で、軍歴を全く持たない江氏だが、1989年秋に最高実力者だったトウ小平氏の後任として軍事委員会主席に就いて以降、人事を掌握して軍内に自身の一大派閥を形成させた。中国国防省の公式資料によれば、江氏は退任するまでの約15年間で、計81人の上將を抜擢（ぼってき）した。同主席退任後も、軍人事などに口出ししていたという。

しかし、江氏の腹心と呼ばれる將軍たちが近年、次々と現役を去り、現在38人いる現役上將のうち、江氏が昇進させたのは6人しか残っていない。しかも、今回の党大会で全員引退することが決まり、軍首脳の中で、江氏の直系といえるのは、江氏の秘書を長年務めた賈延安・総政治部副主任（上將）のみとなった。

共産党内でいまだに大きな影響力を持つ江氏だが、もはや軍にほとんど口出しができなくなったという。10月に行われた軍人事で、胡派が作戦指揮と人事の両部門の責任者を確保するなど躍進する一方、習派も兵站（へいたん）と武器開発部門を押さえるなど存在感を示した。江派と習派が良好関係にあるため、軍内における江派の残存勢力は習派に吸収されるとの見方も浮上している。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121031/chn12103121060005-n1.htm>

● 中国共産党大会 4大人事 習派期待外れ、江派後退 中国軍、胡派巻き返し 2012. 10. 26 08:10

■反日危険視か最高指導部の代償か

【北京＝矢板明夫】5年に1度の中国共産党大会を2週間後に控え、党中央軍事委員会は25日、人民解放軍4大機関のト

ップ人事を発表した。胡錦濤国家主席に近い勢力が躍進し、習近平国家副主席の腹心も2つの重要ポストを得たが、今春に失脚した薄熙来・前重慶市党委員会書記に近いとされる太子党（高級幹部子弟）の主要メンバーは外された。同時に江沢民前国家主席勢力の後退が際立った。この夏、対日政策の主導権などを保守派に奪われた胡錦濤派の巻き返しをうかがわせる人事となった。

◇

新たな軍人事では、作戦や情報を担当する総参謀長と、人事や思想教育を担当する総政治部主任に、胡主席の側近の房峰輝上將と張陽上將がそれぞれ抜擢（ぼってき）された。張氏は直前まで海外メディアに注目されていなかったダークホースだった。空軍司令官に決まった馬曉天氏は太子党だが、胡派に近い人物だとされている。

「国際協調を主張する胡派が最重要ポストを押さえたことで、南シナ海と尖閣諸島周辺で軍事衝突が起きる確率は下がった」と分析する共産党筋もいる。

一方、兵站（へいたん）部門の責任者である総後勤部部长と、武器の開発と調達を担当する総装備部部长に、習副主席に近いとされる趙克石上將と張又俠上將がそれぞれ充てられた。趙氏は福建省で軍団長を務めていたころ、地元指導者だった習氏と親交があった。張氏は習氏の太子党仲間。5氏はいずれも60代前半だ。

香港メディアなどの事前予想で、これらのポストに就くと目されていた、習氏の親友の劉源・総後勤部政治委員（劉少奇元国家主席の子息）ら数人の太子党の軍高官は現職にとどまり、昇進はならなかった。

(1) 薄氏とも親密な関係があり問題視された(2) 軍の太子党関係者らは最近、メディアで日本などとの戦争をあおる強硬発言を繰り返し、軍内外の穩健派から危険視された一などが原因との見方も浮上している。

中国筋によれば、まだ人事が発表されていない党中央軍事委員会副主席の制服組2人については、胡氏側近の許其亮・前空軍司令官と、無派閥の范長竜・濟南軍区司令官が就任することが有力視されている。事実とすれば、親友らを軍の主要ポストに配置したい習氏にとっては大きな痛手となる。

また、江前主席派の凋落（ちょうらく）も今回の人事の特徴だ。陳炳徳・前総参謀長ら江派の軍高官はほとんど引退。総政治部主任に昇格するとみられた、江氏の元秘書で総政治部副主任の賈延安氏も現職にとどまった。

共産党筋は「権力闘争の攻防は常に一進一退。今回の軍人事における胡錦濤派の躍進は、共産党最高指導部人事で胡派が大きく譲歩した結果だった」と意味深長なコメントをしている。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121026/chn12102608120000-n1.htm>

● 3世代が権力闘争 中国共産党大会間近で“三つともえ”

2012. 10. 11 01:02 (1/2 ページ) [中国]

8日、北京で、中国共産党第18回党大会に向け飾りが置かれた天安門広場を警備する人民武装警察の隊員（ロイター）

【北京＝山本勲】来月 8 日に開会する第 18 回中国共産党大会を控え、党長老の動きが活発化している。李瑞環・前中国人民政治協商会議主席（78）が 7 日、女子テニスを観戦して健在ぶりをアピールした。1990 年代に江沢民・前国家主席（86）と鋭く対立した李氏の久々の登場は「江氏と権力闘争中の胡錦濤・国家主席（69）を応援するため」との見方が強い。

党大会で総書記に就任予定の習近平・国家副主席（59）も含めた 3 世代による三つどもえの様相を呈する中で中国の権力闘争はいよいよ大詰めを迎えた。

今月中の開催が見込まれていた党大会がずれ込んだ背景には、指導部人事や政策、薄熙来前政治局員（前重慶市党委員会書記）事件の最終処理などの党内合意が遅れている事情がある。

胡主席率いる共産主義青年団（共青团）派と江前主席ら上海閥、そして習副主席ら太子党（高級幹部子弟）の 3 派がそれぞれの思惑、利権をめぐる権力闘争を続けているためだ。

焦点は胡主席の党中央軍事委員会主席の退任。最高指導部を構成する政治局常務委員ら党中央要職の人事配分なども絡んで、留任説も流れている。

江氏としては自らが引き立てた薄氏の重刑が免れない情勢だ

けに、金銭問題などで噂が絶えない江一族を守るためにも自派人脈の登用に懸命だ。先月 22 日には、かつての部下と北京の国家大劇院でオペラ観劇し、健在ぶりを示そうとした。ただ、そのときの写真を見る限り衰えは隠せないようだ。

一方の李瑞環氏は北京市トップの郭金竜党委書記と王安順副書記を伴い、テニス観戦する写真がネットで流れたが、顔つやも良く往年とそう変わらない。80 年代に共青团幹部を務めた李氏の健在ぶりは胡主席への無言のエールといえる。

90 年代に江氏の最大のライバルだった喬石・元全国人民代表大会常務委員長（87）も 6 月に発言録「喬石 民主と法制を語る」を出版。法治原則の重要性を強調して薄氏の悪行や、薄氏と緊密な周永康・政治局常務委員兼政法委員会書記の国民への強権弾圧ぶりを間接批判していた。

薄氏の嚴重処分で一一致した胡主席と習副主席の角逐も取り沙汰されている。習氏は軍事委主席の「禪讓」も望む一方、胡主席が棚上げした政治改革の推進策を大会報告に盛り込みたい考えとされる。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/121011/chn12101101050000-n1.htm>

【武器取引】

● ロシアの武器輸入、武器輸出額の 1%

30.10.2012 18:26

ロシア国防輸出社（ロスオボロンエクスポート）のアナトーリー・イサイキン社長、ロシアは年間 1-1.5 億ドルの武器輸入を行なっていることを明らかにした。ロシアは通常、武器の巨大輸出国と言われることが多いだけあって、この数字は専門家らの注意をひいた。ロシアが輸入する武器の種類、その目的はなんだろうか？この問いに戦略技術分析センターの専門家ヴァシーリー・カシン氏の表した論文は答えを用意している。

カシン氏の挙げた数値は過去数年の平均値だが、これにはロシアがフランスから 12 億ユーロで購入したミストラル級強襲揚陸艦 2 隻は含まれていない。これは唯一の大型契約だったが、カシン氏は本契約は例外的なものでこの先繰り返されるものとは考えにくいとして、ミストラルを除いた武器購入平均値を出したが、結果的にそれはロシアの武器輸出高の約 1% となった。12 年、ロシアの武器輸出高は 130 億ドルとなっている。

それではロシアが購入する武器とはどのようなものだろうか？主にそれは技術購入とロシア製の武器を生産する上で必要な電子部品といった部材だ。それを示す例として挙げられるのが、ロシアのサーモグラフィカメラ製造に使うため、フランス製の部材が多量購入された例だろう。輸入電子部品はロシア製の輸出入武器に広く使われている。

武器輸入例で最もよく知られているのが Searcher や Bird Eye といったイスラエル製の無人飛行装置だ。ソ連時代にはこうした機器にしかるべく注意を向けてこなかった上に、ロシアになってからも 90 年代、2000 年代初頭にこの分野のテクノロジーに投資を行なう資金を有していなかったため、こうした装置の輸入が余儀なくされてきた。また数は少ないものの、チェコ製の軽輸送機 L410 も司令部の移動や監視飛行のために購入されている。このサイズ

の輸送機はロシアでは生産されていないため、L410 はソ連時代でさえも輸入されていた。

ロシア国防省の調査、テスト用に購入されたのがイタリア製の軍事車両 Centauro と Freccia だ。これと同様の目的でドイツの装甲兵員輸送車 Boxer の購入計画もある。今ロシアで作られている装甲兵員輸送車も安価で信頼性が高く、完成度の高い構造とパワフルだが、ソ連時代に製造された後方エンジンの部材は古く、装甲仕様も弱いため軍ではあまり人気がない。このほかスナイパーの使用するライフル銃もよく輸入される。

ロシアの輸入武器は多様化を深めているが、指導部は国防は第 1 にロシア製の武器でまかなうべきという声明を繰り返している。とはいえ、輸入や国際コーポレーションは外国の有する最新のテクノロジーに触れ、ロシア製の武器の技術レベルアップにつながるため有効だと考えられている。

http://japanese.ruvr.ru/2012_10_30/roshia-buki-yunyuu-yushut-su/

● 武器輸入国上位 5 カ国はアジア諸国

19.03.2012, 10:09

ストックホルム平和問題研究所が発表した 2011 年度の世界の武器取引に関する報告では、武器輸入国の上位 5 カ国が、アジア諸国で占められた。イタル・タス通信が伝えた。

第一位はインドで、それに韓国、パキスタン、中国、シンガポールが続いた。

興味深いことは、2010 年から 2011 年期の中国の武器輸入量が本質的に減っている点だ。その一方で武器輸出の方は同時期、95% も増加し、その結果中国は、武器輸出国リスト第 6 位に躍り出た。

なお武器輸出国の上位 5 カ国は変わりなく、米国、ロシア、ドイツ、フランス、英国の順だった。

http://japanese.ruvr.ru/2012_03_19/68862388/

- ユーラシアンクラブ・愛川サライの運営スタッフを募集します。アジア・シルクロードの諸民族の方々との交流を通して、アジアを視野に国家民族宗教を超えた理解親睦協力を促進し、諸民族の共生、自然との共生を模索して活動します。
- アジア各地からの投稿を歓迎します。ユーラシアンクラブ・企画編集委員会までお知らせください。



【ユーラシアンクラブ動向】

- ロシア連邦サハ共和国の民族音楽芸術家、ゲルマン・ハトラエフさんから

「愛川町で再び和太鼓研修ができないか」との打診がありました。

2010 年夏、ロシア連邦サハ共和国の小・中学生 16 人が愛川町を訪れて、ふれあいの村、繊維産業会館で合宿し、神奈川県立愛川高校で 1 週間にわたり実施した元鼓童の和太鼓奏者金子竜太郎さんによる和太鼓研修について、サハの民族芸術家ゲルマン・ハトラエフさんから、「来年実施できないか」との打診がありました。まだ具体的な提案とはなっていないですが、ユーラシアンクラブや愛川町の仲間、関係者と相談を始めたいと考えています。

【愛川サライ動向】

I 「ホッとベンチプロジェクト」愛川町森林組合と基本合意、12月1日提案型協働事業で審査会

まちづくりネットワーク中津川や中津川流域の団体、行政区、小学校などと協働して進めている親水環境整備のための「水の里愛川ーホッとする空間『中津川水辺プロジェクト』」（略称中津川水辺プロジェクト）のホッとベンチプロジェクトで、愛川町行政推進課、厚木土木との協議、ベンチ設置予定の中津川流域約 10 か所の視察、愛川町森林組合との基本合意が整い、プロジェクト実施の基礎ができました。これは来年 4 月から再来年 3 月までに 50 か所にベンチを設置するものですが、既に神奈川県産の材木でチップを加工している三六木工は、この事業を地産地消の社会奉仕と考え、丸太 45 本をこのプロジェクトのために提供していただき、愛川町森林組合で半切し、佐藤茂町会議員が所有する工場敷地で保管、ベンチ作りの試行に入る計画です。来年 3 月までに 5-60 か所にほっとつベンチを設置し、ベンチのあるまちづくりにもつなげたいと思います。来年度の住民提案型協働事業として実施するかどうかは、12 月 1 日には愛川町の提案型協働事業の審査会が公開で行われる予定です。



II 11 月 18 日(日)、第 2 回中津川モンゴルフェスティバル開催

10 月 30 日、半原・両向行政区児童館で、第 2 回中津川モンゴルフェスティバル実行委員会が開催されました。実行委員長の中島良一実行委員長から協力の要請を受け、会場となる神奈川県立あいかわ公園での会場づくりや当日の進行、必要な準備、財源確保、次回の実行委員会などについて協議した後、あいかわ公園のフェスティバル会場を視察、公園事務所の石橋義廣所長に協力を要請しました。次回の実行委員会は 11 日午後 1 時から開催されます。

第 2 回中津川モンゴルフェスティバルは、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の共催、愛川町観光協会の後援、地元半原区長会、繊維産業会、まちづくりネットワーク中津川諸団体の協力で開催されることが正式に決まりました。

愛川町の語源となった中津川の旧称「鮎川」の清流を生かした「水の里愛川ーホッとする空間『中津川水辺プロジェクト』」、愛川町文化会館を舞台にした「中津川弁財天愛川町音楽祭ーアジア・シルクロード音楽フェスティバル」、そして中津川上流の水源である宮ヶ瀬ダムのあいかわ公園で開催する「中津川モンゴルフェスティバル」。この三つを愛川町のまちづくりの基軸として育てたいと考えています。

《一言コメント》【東日本大震災被災からの復興と再生に向けて】

③宮脇昭横浜国立大学名誉教授（国際生態学センター長）

—復興と再生に瓦礫を生かした「森の長城プロジェクト」推進—

「東日本の震災復興に必要なだと提案している森の長城計画は、9000 年は持つ事業。私は現在 84 歳だが、120 歳までは活動できる。最近森林植栽事業について天皇皇后両陛下に御進講申し上げたら大変興味を持っていただき、予定の時間を 1 時間以上も超過してお話した。樹木の根は息している、がれきと土を混ぜると隙間ができ根に必要な酸素ができて、一年で 1 メートルの根が伸びる。その土地に適した樹木を植栽すれば 10 年で森林は復活する。私には植林しかできないが、必要があればお声かけください。」

※ 私は、11 月 1 日、横浜にある国際生態学センターを訪ね、宮脇昭さんに面会した。会談では、宮脇さんの情熱と信念を持った戦車のような力強い行動力、活力に触れ、改めて覚悟のある取組が必要だと実感しました。政治に期待できない現状の中で、今年 5 月に設立された「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」は、今後 10 年間で 9000 万本の樹木を植えるプロジェクト。このプロジェクトに参加しながら進めたいと考えています。国は林野庁を中心に進める動きがあると聞きますが、東日本の被災地の方々と一緒に進める体制が欠けていると思われる。人類史的課題に、危機をチャンスに取り組みむという宮脇さんに呼応することが復興につながると考えています。森の長城は、現代の鎮守の杜に相当する本物の森づくりというメッセージを受け止めたいと思います。

※ （気になること 1）このプロジェクトで一番気になることは、国や行政の意思、政治家の復興への覚悟が希薄としか受け止められないこと。プロジェクトの財源確保および被災地住民と被災地以外の人とどうつながっていくかがポイントになる。知恵と行動力が試される。

※ （気になること 2）東日本大震災直後の動きとして、今日各地で「がれきの引き取り」が起きている背景に「復興特需」を念頭に置いた大手企業グループの地域談合があるという人がいる。情報を集めたい。宮脇ビッグプロジェクトの阻害要因の一つになっているのではないかと危惧している。膨大に思える瓦礫の量も、300 ㌦の防潮堤の 4、8%にしかならないという。燃やして Co2 にするだけでなく、防潮堤の植林として後世に残る形にした方がよい。

※ 宮脇昭さんの「いのちを守る 300 ㌦の森づくり」という緊急提言が発表されたのが今年四月、私はすぐに積極的支援を表明した。私はずっと気になっていたことがあったからだ。震災から一か月後、南相馬市から名取市まで原チャリで視察した際に、国道 6 号線を走りながら、国道の海側と内陸側で被害の状況が全く異なっていたのである。盛り土され造成された国道が防潮堤の役割を果たし、被害の明暗を分けていた。宮脇提案は、60 年間で 1700 か所、4000 万本以上の植林をしてきたノウハウを投入して行われている。瓦礫は被災者の思いのこもったかけがいのない地球資源という考えによる。がれきを活用した植林という森の長城計画は、地球規模の地球温暖化対策にもつながっている。苦手な分野ではあるがタブノキ、シラカシ、ウラジオカシ等、「土地本来の樹木」を理解するために少し勉強してみたい。

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間 1 口 3,000 円、学生会員 1,000 円、賛同会員 2,000 円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.cocolog-nifty.com/>

2012 1101 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：ナショナリズムを扇動する政治家はいなくならんかな。地球時間における人類の時間を短くするだけだ。地位や名誉、お金そして自分の保身。勝ち馬や流れに乗ったり、上を見るヒラメ的人間が「社会」の主導権を握るのは時空を超えて変わらない。この人間が利用し、躍るのが「ナショナリズム」。アケメネス朝ペルシャ以来の国家そして民族、宗教に向き合うことが必要だ。「神の時代」から「人の時代」へ。そして人もその一部である「自然」に向き合うことでもある。無限に回帰する時間に人間は厳粛になれるかな。難しいような気がしてならない。その本性がそうさせない、のかな。役に立つクラブとレターづくり。毎月 20 日が締め切りです。（お）